

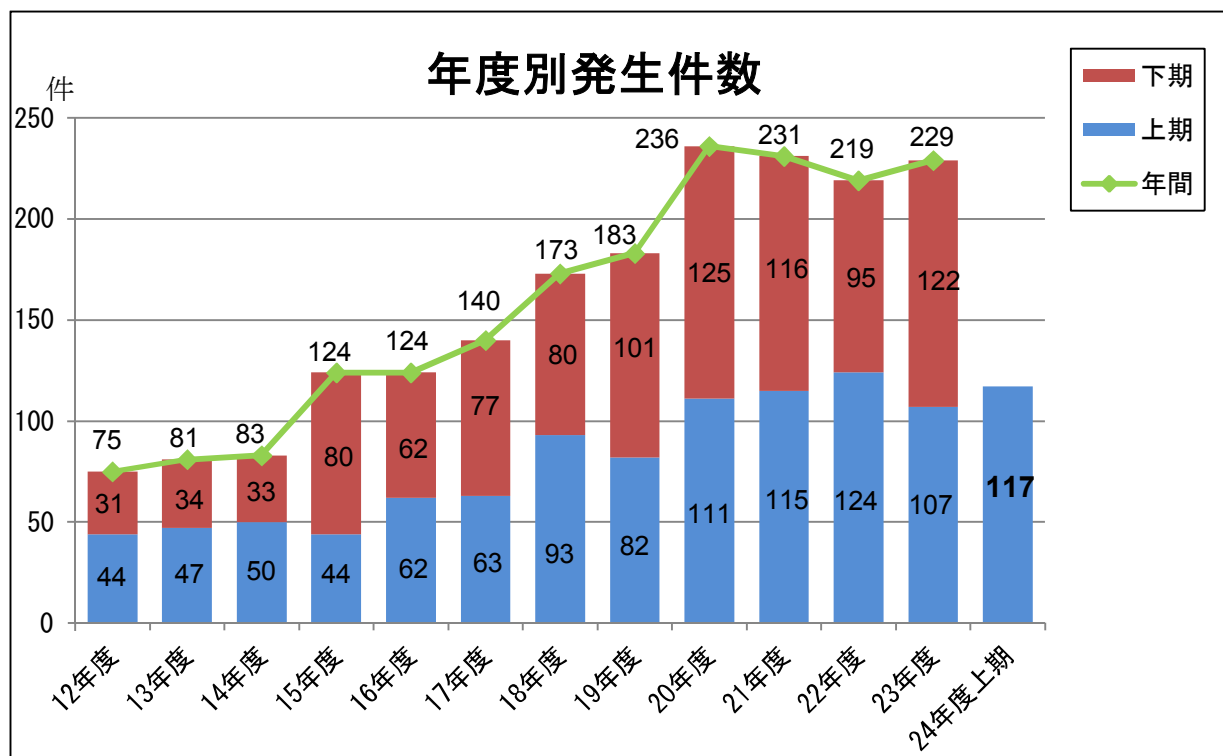
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成24年度上期／大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成24年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は117件（対前年同期+10件）となりました。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）に発生することが多い傾向にあります。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、引き続き啓発ポスターの掲出などを実施してまいります。



（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

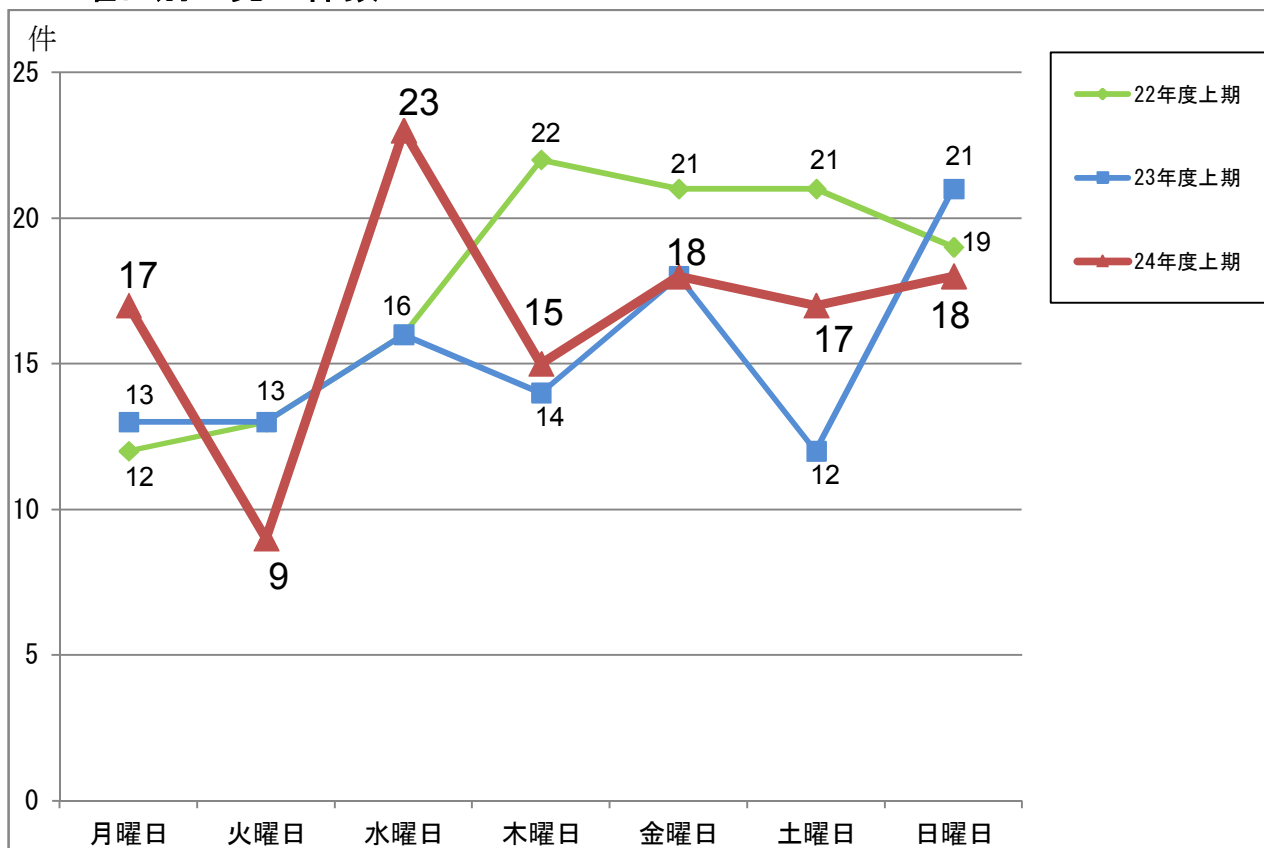
- | | | | |
|----------|--------------|----------|---------|
| 1. 発生曜日 | 2. 発生時間帯 | 3. 発生場所 | 4. 発生契機 |
| 5. 加害者年齢 | 6. 加害者の飲酒の有無 | 7. 具体的事例 | |

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています

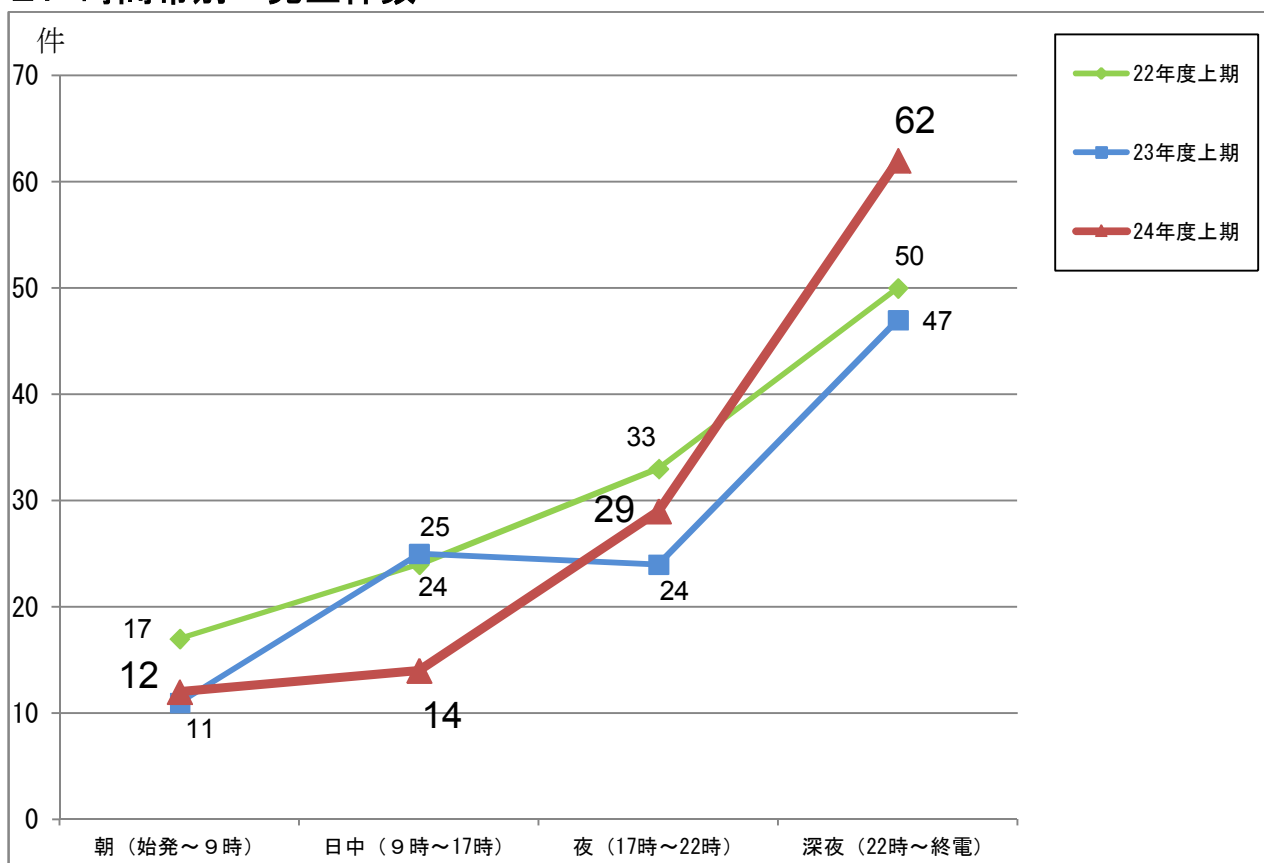
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・福岡経済記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

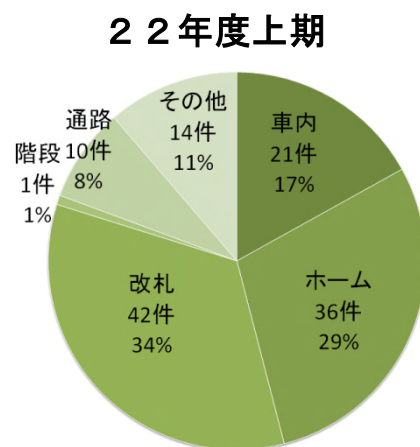
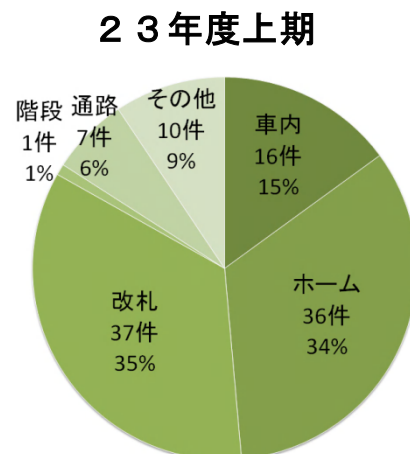
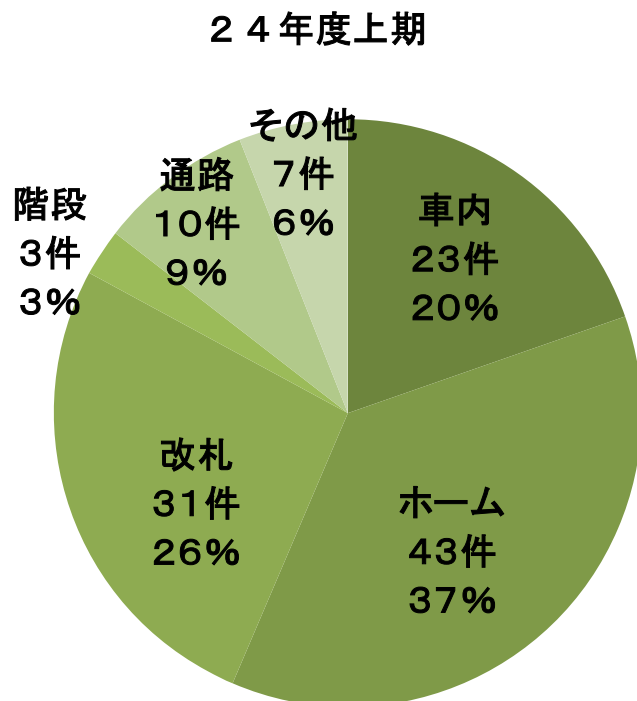
1. 曜日別 発生件数



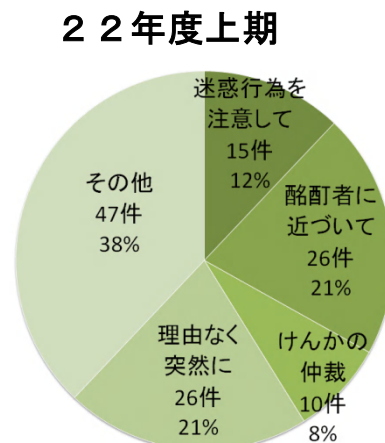
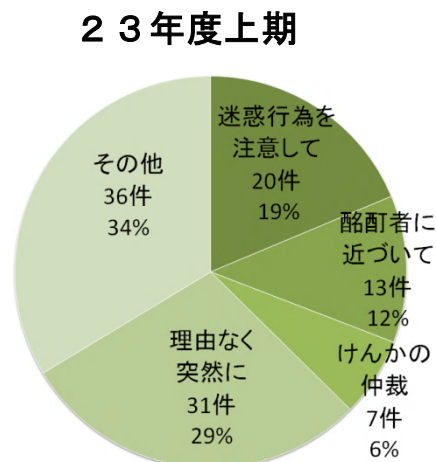
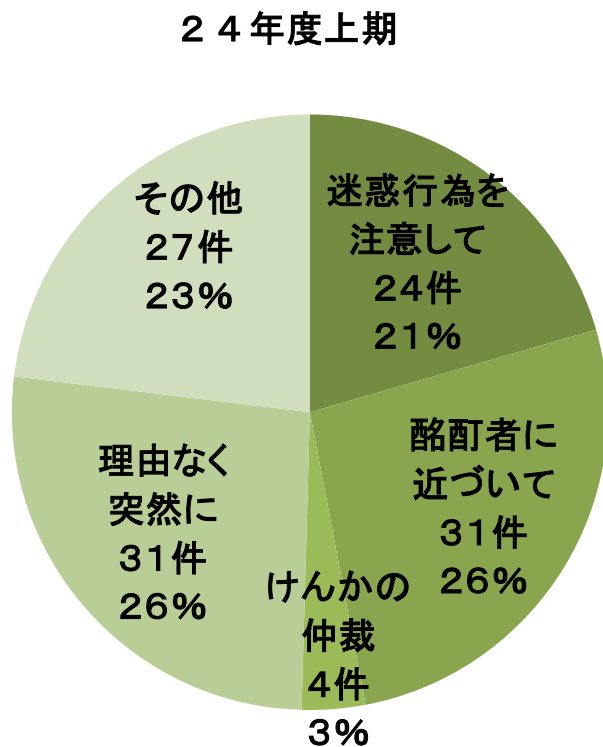
2. 時間帯別 発生件数



3. 主な場所別 発生件数

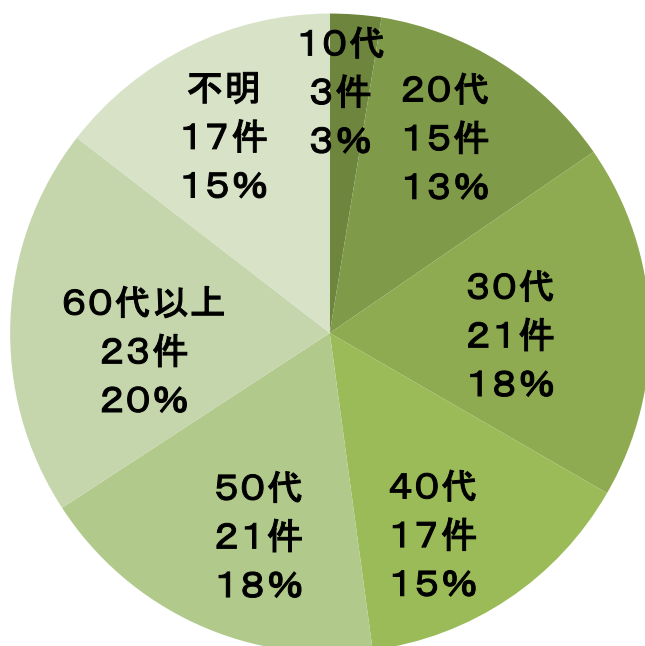


4. 主な契機別 発生件数

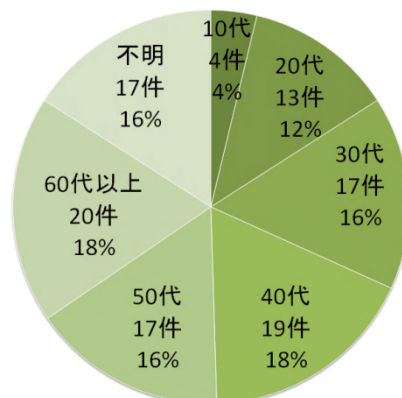


5. 加害者年齢

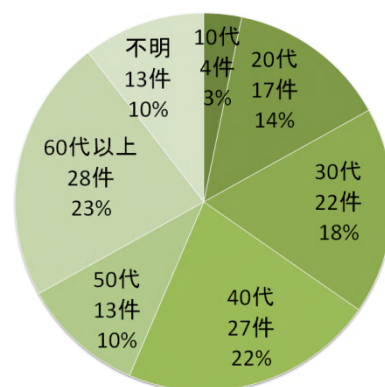
24年度上期



23年度上期

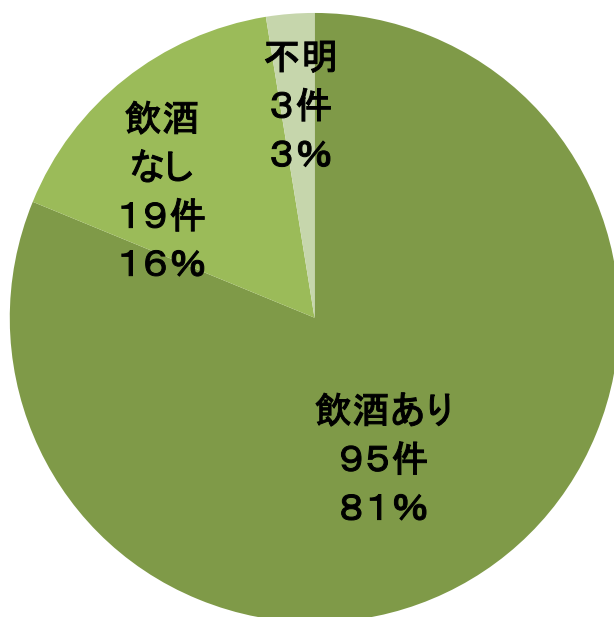


22年度上期

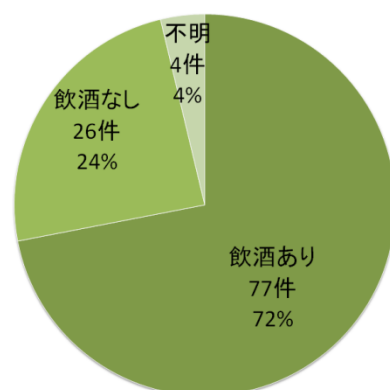


6. 加害者の飲酒状況

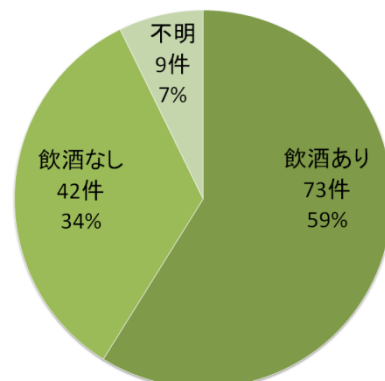
24年度上期



23年度上期



22年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	水曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	車内
契機	迷惑行為を注意して	年齢	20歳代	飲酒	あり

車内で喫煙をしているお客さまがいたため、注意したところ突然殴られ、また足でもみ消された煙草を拾おうとした際に手を踏みつけられ、負傷した。

（全治5日）

【事例2】

曜日	日曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	50歳代	飲酒	あり

「〇〇駅まで電車はあるか？」との問い合わせに対して、該当駅までの運行は既に終了していたため、その旨をご説明したところお客さまが急に怒り出し、窓口に置いてあった備品を投げつけられた。係員が拾い上げようと屈んでいるところにさらに他の備品を投げつけられ、それが係員の目の近くに当たり負傷した。

（全治12日）

【事例3】

曜日	月曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	酩酊者に近づいて	年齢	60歳代	飲酒	あり

酩酊状態のお客さまが残額の足りないカードで強引に自動改札機を通ろうとした際、誤って転倒された。係員はお客さまを介助しようと近付いて膝をつき、声をかけたところ不意に顔を殴られ、負傷した。

【事例4】

曜日	日曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	車内
契機	理由なく突然に	年齢	10歳代	飲酒	なし

列車が終点に到着した際にお客さまが眠られていたので、お声をかけたところ急に怒り出し、係員の顎をつかんで膝で腹部を蹴られた。

以 上